

排水管清掃 の作業手順

・高圧洗浄車を使用して排水管の土砂を洗い流す作業

改定日 2022.10.3

準備工

- ・作業内容の打ち合わせ（KY活動）
- ・作業人員の確認
- ・作業位置・規制の確認
- ・使用機械の点検
- ・保護具の点検
- ・作業方法の確認

- ・リスクアセスメントによる危険予知の実施
- ・各種資格の確認
- ・規制簿の確認 担当者との打合せ
- ・運行前・使用前点検の実施
- ・保護メガネ・マスク・安全帯・親綱等の確認
- ・担当者との打合せ・手順書の確認
- ・作業前に安全靴の選定をする。（土踏まず部分の切欠きされた安全靴は使用しない）
- ・作業前に通路を確保しておく。

ケーブル確認
危険物の除去

- ・現場到着後、リスクアセスメントによる現場KYの実施
- ・ケーブル露出箇所の確認
- ・危険物(ゴミ等)の除去

- ・年間ケーブル協議書に準じてケーブル防護を行い作業を行う(年間協議書参照)
- ・ケーブルの周りをカマ等人力で刈取(直径2m程度)目印つける
- ・刈り手にケーブル場所の説明を行う
- ・危険物(ゴミなど)は前もって除去する
- ・ゴミ等は指定された仮置き場に集積する

作業開始

- ・排水溝の周りの草等刈り取る
- ・円形水路内の缶等を除去する
- ・洗浄
- ・高圧洗浄車で下流へ向けて洗浄する
- ・下流の集水ますにてバキューム吸引

- ・草刈り・伐採の手順書に準ずる
- ・高圧洗浄車の人員配置
運転手・ホース持ち・操作盤要員の2名
警笛にて高圧水の入り切り
- ・高圧洗浄車の人員配置
- ・汚水を外部に漏らさない
- ・保護メガネを必ず使用する

作業終了・片付け

- ・終礼の実施

- ・土砂・道具等の放置確認
- ・リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施

注意事項

- ・各自、自己の役割に徹し、オペレーター以外はむやみに洗浄車の操作盤等につれないこと。
- ・作業指揮者は、流末を確認した後、作業開始の指示を下し、作業後の確認も怠らない。
- ・特殊な作業機械を操作する為、充分な知識と能力のある物を、オペレーターとして選定する。
また日頃から教育にも努める。
- ・1人作業の禁止

安全器具・保護具確認

ヘルメット・安全チョッキ・保護メガネ・手袋・マスク
ポイズンリムバー・熱中症グッズ・涼しん帽